

2010年度

科目名	国語科教育法 I		
担当教員	金川 廣一郎		
配当	教福2	コード	53570
開期	前期	講時	金曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	国語科授業入門(小学校)		
目的と概要	子どもが楽しく、そして学力のつく授業とはどのようなものだろうか。「教材研究」や「授業づくり」の方法、さまざまな授業モデルなどを紹介しながら、具体的な発問の工夫や指導案の作成を行う。さらに作成した指導案で授業を行うとき、どのような場の設定や準備物が必要かを自分なりの視点から考える。		
成績評価法	平常点(25%)・レポート(25%)・課題提出状況(25%)・授業への取り組みの姿勢(25%)		
テキスト	小学校学習指導要領解説 国語編 文部科学省 東洋館出版社		
参考書	随時、プリントを配布。		
履修に当たっての注意・助言	大人数の授業になるが、受け身ではなく積極的な参加を期待する。また、次年度の教育実習を視野に入れ、指導者としての技能向上を目指した課題を課す。		
講義計画			
1. 国語科教育で育てるべきもの 2. 学習指導への道筋(1) 教材研究の方法 3. 学習指導への道筋(2) さまざまな授業形態と授業づくりの工夫 4. 学習指導への道筋(3) 発問・助言・指示・説明、板書の工夫など 5. 学習指導への道筋(4) 漢字書き順指導・文章表現の基礎など 6. 「実践アクセス講義」現職の先生による講義『国語授業の実際』（ゲストティーチャーによる） 7. 物語文教材の学習指導(1) 低学年の教材より（模擬授業と討議会を通して） 8. 物語文教材の学習指導(2) 高学年の教材より（模擬授業と討議会を通して） 9. 説明的文章の学習指導(1) 低学年の教材より（模擬授業と討議会を通して） 10. 説明的文章の学習指導(2) 高学年の教材より（模擬授業と討議会を通して） 11. 話すこと・聞くことの学習指導(1) さまざまな活動とそれぞれの目標 12. 話すこと・聞くことの学習指導(2) 模擬授業を通しての授業づくりの工夫 13. 書くことの学習指導 書く技能を高めるためのさまざまな手だてについて 14. 指導技術と場の設定 補助教材、音読指導、児童作品の二次教材化 15. まとめとレポート作成			